抗血小板・抗凝固薬の手術前休薬期間の目安

院内採用薬：黄色背景

社会医療法人財団石心会川崎幸病院薬剤部　2024年12月改訂

分類	一般名	先発品名	後発品名	休薬期間の目安
抗血小板薬	アスピリン	なし	アスピリン	7～10日前
			バイアスピリン	
	アスピリン・ダイアルミネート配合剤	なし	バファリン配合錠A81	7～10日前
			アスファネート配合錠A81	
			ニトギス配合錠A81	
			バッサミン配合錠A81	
			ファモター配合錠A81	
	チクロピジン塩酸塩	パナルジン	チクロピジン塩酸塩	10～14日前
	クロピドグレル硫酸塩	プラビックス	クロピドグレル	10～14日前
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント	—	14日前
	チカグレロル	ブリリンタ	—	5日前
	シロスタゾール	プレタール	シロスタゾール	2～3日前
	イコサペント酸エチル（EPA）	エパデール	イコサペント酸エチル	7～14日前
	オメガ-3脂肪酸エチル（EPA・DHA）	ロトリガ	オメガ-3脂肪酸エチル	7～14日前
	ベラプロストナトリウム	プロサイリン/ドルナー ケアロード/ベラサス	ベラプロストNa	1～2日前
			ベラプロストナトリウム	
	サルポグレラート塩酸塩	アンプラーグ	サルポグレラート塩酸塩	1～2日前
	アスピリン・ランソプラゾール配合剤	タケルダ配合錠 （バイアスピリン+タケプロン）	—	7～10日前
	アスピリン・クロピドグレル硫酸塩配合剤	コンプラビン配合錠 （プラビックス＋バイアスピリン）	ロレアス配合錠	10～14日前
	アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩配合剤	キャブピリン配合錠 （バイアスピリン+タケキャブ）	—	7～10日前
抗凝固薬	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩	プラザキサ ★拮抗薬あり	—	
	エドキサバントシル酸塩水和物	リクシアナ ★拮抗薬あり	—	
	リバーロキサバン	イグザレルト ★拮抗薬あり	—	
	アピキサバン	エリキュース ★拮抗薬あり	—	
	ワルファリンカリウム	ワーファリン ★拮抗薬あり	ワルファリンK	3～5日前 （INR確認）
血管拡張薬	リマプロストアルファデクス	オパルモン	リマプロストアルファデクス	1～2日前
冠血管拡張薬	ジピリダモール	ペルサンチン	ジピリダモール	1～2日前
	ジラゼプ塩酸塩水和物	コメリアンコーワ	ジラゼプ塩酸塩	2日前
	トラピジル	ロコルナール	トラピジル	2～3日前
脳循環・代謝改善薬	イブジラスト	ケタス	—	3日前
	イフェンプロジル酒石酸塩	セロクラール	イフェンプロジル酒石酸塩	1日前
	ニセルゴリン	サアミオン	ニセルゴリン	中止する場合は2～3日前
アレルギー薬	オザグレル塩酸塩水和物	ドメナン	オザグレル	1日前
	セラトロダスト	ブロニカ	—	出血リスクのある場合は7日前
	ラマトロバン	—	ラマトロバン	2日前
ヘパリン	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム注 ★拮抗薬あり	—	6時間

一般名	先発品名	※出血リスクからみた観血的手技の分類			
		出血低リスク手技		出血中リスク手技	出血高リスク手技
ダビガトラン エテキシラートメタンスルホン酸塩	プラザキサ	12時間以上前から休薬	Ccr：80mL/分以上	24時間前から休薬	48時間前から休薬
			Ccr：50～79mL/分	36時間前から休薬	72時間前から休薬
			Ccr：30～49mL/分	48時間前から休薬	96時間前から休薬

一般名	先発品名	※出血リスクからみた観血的手技の分類			
		出血低リスク手技		出血中リスク手技	出血高リスク手技
エドキサバントシル酸塩水和物	リクシアナ	12時間以上前から休薬	Ccr：30mL/分以上	24時間前から休薬	48時間前から休薬
リバーロキサバン	イグザレルト				
アピキサバン	エリキュース		Ccr：15～29mL/分	36時間前から休薬	

	一般名	薬品名	拮抗対象薬剤（一般名）	薬価
拮抗薬	イダルシズマブ（遺伝子組換え）	プリズバインド	プラザキサ（ダビガトラン）	203,626円／ 2.5g
	メナテトレノン（ビタミンK）	ケイツーN	ワーファリン（ワルファリンカリウム）	66円／ 1A
	乾燥濃縮人プロトロンビン複合体	ケイセントラ	ワーファリン（ワルファリンカリウム）	66,403円／1000単位 35,571円／ 500単位
	プロタミン硫酸塩	プロタミン	ヘパリンナトリウム	683円／1V
	アンデキサネット アルファ（遺伝子組換え）	オンデキサ	直接作用型第Xa因子阻害剤（アピキサバン、リバーロキサバン、エドキサバントシル酸塩水和物）	338,671円／200mg

抗血小板・抗凝固薬の手術前休薬期間の目安

※心房細動患者における抗凝固療法の出血リスクからみた観血的手技の分類

出血低リスク手技	出血中リスク手技	出血高リスク手技
・歯科手術（抜歯，切開排膿，歯周外科手術，インプラントなど）	・出血低リスクの消化管内視鏡（バルーン内視鏡，膵管・胆管ステント留置，内視鏡的乳頭バルーン拡張術など）	・出血高リスクの消化管内視鏡［ポリペクトミー，内視鏡下粘膜下層剥離術（ESD）など］
・白内障手術	・内視鏡的粘膜生検	・経皮的ラジオ波焼灼術（経皮的アルコール注入術・マイクロ波凝固術）
・通常消化管内視鏡	・経会陰前立腺生検	・超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）
・上部・下部消化管内視鏡，カプセル内視鏡，内視鏡的逆行性膵胆管造影など	・経尿道的手術［膀胱生検，膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt），前立腺レーザー手術，尿管砕石術］	・気管支鏡下生検
・体表面手術	・経皮的腎瘻造設術	・硬膜外麻酔，脊髄くも膜下麻酔
・膿瘍切開，皮膚科手術など	・緑内障，硝子体手術	・開頭術・脊髄脊椎手術
・乳腺針生検，マンモトーム生検	・関節鏡視下手術	・頸動脈内膜剥離術
	・乳腺切除生検・良性腫瘍切除	・胸部外科手術（胸腔鏡を含む）
	・耳科手術・鼻科手術・咽頭喉頭手術・頭頸部手術	・腹部・骨盤内臓手術（腹腔鏡を含む）
	・心臓デバイス植込手術・血管造影，血管内手術・心臓電気生理学的検査，アブレーション（心房細動アブレーションは除く）	・乳癌手術
		・整形外科手術
		・頭頸部癌再建手術
		・下肢動脈バイパス術
		・肝生検
		・腎生検
		・経直腸前立腺生検
		・経尿道的前立腺切除術（TUR-P）
		・体外衝撃波結石破砕術（ESWL）
		・経皮的腎砕石術

＜参考文献＞

「JCSガイドライン フォーカスアップデート版 冠動脈疾患患者における抗血栓療法」2020年 日本循環器学会

「2020年改訂版　不整脈薬物治療ガイドライン」日本循環器学会，日本不整脈心電図学会

非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン（2022年改訂版）

ベッドサイドの臨床薬学 周術期の薬学管理 第2版2018年12月 一般社団法人　日本病院薬剤師会

2021年 JCS/JHRS ガイドライン フォーカスアップデート版 不整脈非薬物治療　日本循環器学会/日本不整脈心電学会合同ガイドライン

抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン　直接経口抗凝固薬（DOAC）を含めた抗凝固薬に関する追補 2017

2020 年改訂版弁膜症治療のガイドライン　日本循環器学会 / 日本胸部外科学会 / 日本血管外科学会 / 日本心臓血管外科学会合同ガイドライン

各種インタビューフォーム，添付文書（メーカー返答含む）